

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 柏崎市立北鱈石小学校

① 学習指導案

プログラム	No.10 「校歌の風景をみつめてみよう」
単元名(全10時間)	未来に残したい校歌の風景をみつめてみよう
学習のねらい	○校歌に描かれている情景を知ることを通して地域のよい景観を発見し、地域への愛着心を育て、大切にしていこうとする。 ○地域の地理的位置、街並みなどの様子を調べ、地域の特色を考える。
学習内容	1 創立120周年を迎え、校歌に詠われている柏崎の風景を話し合う。 2 今まで探検した柏崎のことを想起し、米山、鱈石川、北斗七星がみえる柏崎の風景を探索する計画をたて、探索する。 3 探索の結果を紹介カード(風景と説明)にまとめる。 4 紹介カードを使って話し合い、創立記念の階段アートとしてふさわしい風景を決める。 5 全校で階段アートを作成し、創立120周年記念音楽会において地域に披露し発信する。
参考資料 準備品 実施場所等	観光パンフレット・ポスター、デジカメ(タブレット)、メモカード、たんけんバック ○コミセン ○えんま堂 ○海水浴場 ○海浜公園 ○恋人岬 ○夢と森公園 ○赤坂山公園 ○ブルボン ○さけのふるさと公園 ○柏崎市立博物館

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
2	1 校歌に描かれている情景や、イメージのできる場所を探し、その情景について絵や紹介文などに記録する。	・分かりやすい地図等により、校歌に詠われている景色を確認させる。また、子ども自らタブレットで写し、いつでも振り返ることができるようにする。	活動の意欲(観察)
2	2 校歌に描かれている情景等を市内各地を探検してから眺め、自分たちの地域からの眺めと比較し、地域から見る情景のよさを話し合う。	・探検先で見た情景をタブレットで写し記録する。話し合いでは、それらの活用を推奨する。	課題設定能力(観察メモ)
2	3 これまでの探検や地域の高齢者とかかわる活動を通して感じたことを、子どもの得意な方法で表現する(絵、工作、詩など)。	・感じたことを素直に表現できる方法を一人一人が選択できるようにする。表現を通して、地域の魅力を強く実感させる。	表現力(作品)
4	4 表現したことを発表し合 5 い、地域の情景を宝として共有すると共に、将来の地域について夢や希望をもち階段アートとして形に残す。	・階段アート等の制作方法を示し、自分たちの思いを楽しく発信する方法を指導する。地域にも紹介することを伝え、制作への意欲を向上させる。	表現力(まとめ作文、作品)

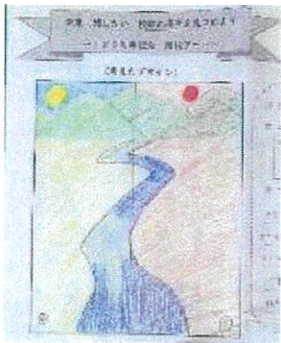

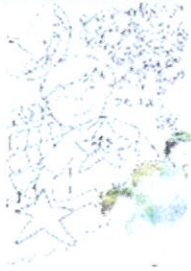
<留意点>

交通安全に配慮する。

行動の範囲を広げるため家庭に協力を求める。

② 事業実施報告書詳細

学校名 柏崎市立北鱒石小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
2	教室 他	<p>創立120周年記念事業として校舎に作品を描くことを伝える。</p> <p>作品作りのために、校歌に描かれている情景や、イメージのできる場所を探し、その情景について絵や紹介文などに記録した。</p>		<p>創立記念の作品を5・6年生全員で作ることを知り意欲付けになった。</p> <p>校歌はなじみのある歌であり身近な情景を詠っているので、児童にとって理解しやすい題材であった。</p>
2	教室 他	<p>校歌に描かれている情景等をインターネットで検索しイメージを膨らませた。その後、必要に応じて家庭に協力してもらい市内各地を探検した。市内各地からの眺めと、自分たちの地域からの眺めと比較し、地域から見る情景のよさを話し合った。</p>		<p>地域資料の副読本の活用や、総合的な学習の時間「ふるさとかるたづくり」の経験を活かし、課題を明確にした。</p>
2	教室	<p>これまでの探検、地域の高齢者やお家の方へインタビューしたことで感じたことを、絵で表現した。</p>		<p>前時までに、児童で話し合ったことにより、自分の描きたい風景を一層鮮明にできた。</p>

<p>4</p>	<p>体育館 図工室 他</p>	<p>表現したことを発表し合い、地域の情景を宝として共有し、階段アートの原画3枚（校歌の1番から3番）を制作した。</p> <p>将来の地域について夢や希望をもち、階段アートとして形に残した。</p>	   	<p>各原画を複数の児童の共同作品とすることで、表現内容が膨らんだ。</p> <p>製作の様子について、地元ラジオ局からインタビューを受け、地域に発信した。地域からの期待の高まりが、意欲付けになった。</p> <p>完成した作品を全校児童、保護者・地域の方に公開した。全校児童・地域の方々から賞賛され、児童は喜びにあふれた。</p>
----------	--------------------------	--	--	--

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>「創立記念事業として作品を遺す」ということで、子どもに大きな意欲付けをした。</p> <p>社会科や総合的な学習の時間（ふるさとかるた）の既習学習を確認し、市の郷土資料副読本を改めて読み直すことにより、学習課題を明確にした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <p>コロナ禍で校外学習における体験活動は、厳しく制限された。計画どおりにいかないことが多々あり苦勞した。</p> <p>市内の探検に、休日、保護者の協力を求めた。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>校歌という身近な題材を選んだことで、子どもたちの意欲が高まると同時に景観への見方や気づきが広がった。階段アートという、最終的なゴール（目的）を明確にすることで、調査活動やまとめの活動において豊かな感受性とコミュニケーションを最大限に生かして、よりより作品に仕上げようと取り組むことができた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>活動を充実していくには、子どもの気づきを指導者がしっかりと把握しておく必要がある。学級全体での話し合いの後、一人一人の気づき（シート等）を丁寧に見取る姿勢が見られた。</p> <p>市内の各地を知ることになり、郷土学習の指導に自信を深めた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>学力向上の観点から、他教科との関連を明確にして指導することが重要である。</p>